

現地状況報告書

おかやま国際協力大使 氏名 井上 満
赴任国 ミャンマー

6月に入り、しっかり活動ができるのもあと半年ほどになりました。
前回の報告後、2月にテスト（日本で言う学年末テスト）があり、生徒の半数が実家に帰省。

3月に入り、卒業テストと進級テストがあり、生徒たちは全員帰省しました。
※日本と違い、日本の高校に当たる生徒は卒業テストというのを受け、その結果で大学を振り分けられます。つまり、自分が行きたい大学ではなく、成績順に大学を振り分けられるというシステムなのです。

しかし、ナショナルチームのセレクションを受ける生徒などはすぐに学校に戻ってきて練習を再開しました。

バレーボールの女生徒が4名戻ってきていたので、毎日ジムで基礎トレーニングと午後はバレーボールの練習の指導を、3月、4月、5月前半まで、現地コーチとともに行いました。

5月に入ってから、ジムの指導も再開したので、しっかりまたすべての生徒に基礎から指導を再開しました。

さらに、6月に入り、学校も新学期がスタート。 昨年の経験があるので、今期は前年よりも行事予定などが頭に入っているので、より指導がしやすいです。

学校の活動以外で言うと、3月に岡山県の国際協力推進員の方がミャンマーを訪問してくれ、ご案内をさせていただいたり、任地を見ていただいたりしました。

また、3月末から4月上旬までの2週間、首都ネピドーに呼ばれ、ジム指導やトレーニング論のワークショップを主催しました。

この時にはスポーツ保健省の副大臣とお会いしたり、スポーツ部門のトップ (Director General) と意見交換できたり、有意義な時間が過ごせました。

そして、4月中旬はミャンマーのお正月、水かけ祭りの週がありました。 その間はお店もほとんど閉まってしまい、みんな帰省して誰もいない状況になるので、

任国外、ベトナムに旅行し、岡山大学に留学で来ていたベトナム人の友達と会い、楽しい時間を過ごしてきました。

これから半年、ラストスパートで、しっかり活動をやりきっていきたいと思います。



女子バレーボール指導



ネピドーのワークショップ



推進員、守都さんとカウンターパートと任地にて



ベトナムで岡山大学の元留学生と



新学期セレモニーで生徒たちと